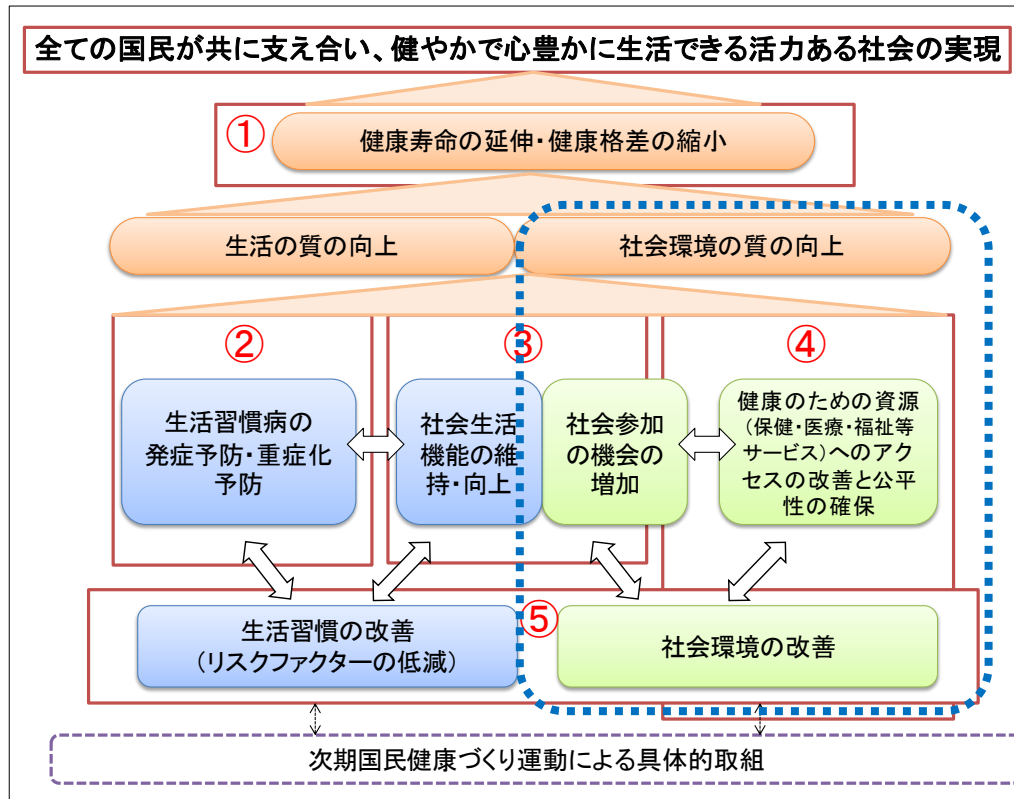


○ 重点テーマ: 社会環境

○ ポイント: 次期健康づくり運動の計画を見据えた社会環境の整備に関する実態把握

健康日本21(第二次)の概念図



健康寿命の延伸・健康格差の縮小に向けては、個人の生活習慣の改善及び個人を取り巻く社会環境の改善を通じて、生活習慣病の発症予防・重症化予防を図るとともに社会生活機能低下の低減による生活の質の向上を図り、また、健康のための資源へのアクセスの改善と公平性の確保と図るとともに、社会参加の機会の増加による社会環境の質の向上を図ることが重要。

(健康日本21(第二次)の推進に関する参考資料より)

「健康日本21(第二次)」中間評価報告書(抄)(平成30年9月)

- 生活習慣の改善は、健康寿命の延伸に寄与することがわかっていることから、健康寿命の延伸のためには、この分野への取組を強化することが重要である。そのためには、これまでの施策で行動変容が起きていないと思われる無関心層へのアプローチが課題。
- 無関心層が意識せずとも自然に健康になれるよう、社会全体として個人の健康を支え、守る環境やまち作りに努めていくことが必要。

# 生活習慣調査票の方針(案)

「社会環境」を重点テーマとして実施した、2015(平成27)年の生活習慣調査票も踏まえた上で、以下の方針としてはどうか。

- 健康日本21(第二次)の推進のための基本的な項目についてモニタリングを行う。
- 社会環境の整備状況について、その実態等を把握するとともに、健康無関心層から低関心層への対策に資する基礎データを得る。

[2015年調査と2019年調査の比較]

分野	重点テーマに係る質問項目	
	2015年	2019年
栄養・食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養成分表示の利用状況とニーズ</li> <li>主食・主菜・副菜を組み合わせて食べることに對する意識</li> <li>外食、弁当・惣菜の利用状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外食、弁当・惣菜、配食、サプリメント等の利用状況</li> <li>食習慣に関する行動変容のステージの状況</li> <li>健康な食生活に関する情報源</li> </ul>
身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動できる場所の利用状況とニーズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動習慣確保のための支援状況</li> <li>運動習慣に関する行動変容のステージの状況</li> </ul>
休養	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な休養確保のための支援状況とニーズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な休養確保のための支援状況</li> </ul>
喫煙	<ul style="list-style-type: none"> <li>受動喫煙の防止のためのニーズ</li> <li>禁煙治療へのアクセス状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙治療へのアクセス状況</li> </ul>
社会環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会へのつながりの状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会へのつながりの状況</li> </ul>
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時のための食料の備蓄</li> </ul>